

(第1面)

## 様式1-1 キャリア・プランシート(就業経験がある方用)

令和 × 年 × 月 × 日現在

ふりがな	にっぽん	はなこ	生年月日	昭和 35 年 8 月 10 日
氏名	日本	花子		
ふりがな	まるまるけんさんかくさんかくしゅうおういっちょうめ		電話	
連絡先	〒 111 - 2222		090 - 9876 - 5432	
	〇〇県△△市中央町1-1-1		メールアドレス	<a href="mailto:jobcard@abc.com">jobcard@abc.com</a>

### 価値観、興味、関心事項等

(大事にしたい価値観、興味・関心を持っていることなどを記入)

これまで不動産会社に勤務し、定年退職となった。この仕事にやりがいを感じ現在も奉職した会社の代理店として営業活動をしている。個人向けの中古物件が主だが新築の戸建て住宅にも興味があり、インテリアにも関心を持っている。在職中は技術者がすぐそばにいてサポートしてくれたが、独立すると少し敷居が高くなるので、自ら技術的なバックボーンを持ち、お客様が満足していただけるような高品質な住宅を提供したい。

### 強み等

(自分の強み、弱みを克服するために努力していることなどを記入)

営業一筋でクレームは1件もなかった事で、お客様とのコミュニケーションには自信がある。また、営業につきもののプレゼンも充分出来る。自分の弱みや限界は把握しているが、それを超えようとする努力は不足していると思う。これが今後の課題である。

### 将来取り組みたい仕事や働き方等

(今後やってみたい仕事(職種)や働き方、仕事で達成したいことなどを記入)

個人事業として住宅の営業(販売)をしているが、インテリアについての要望も多く、これまでに販売した物件についての顧客の感想等は保存しているので、参考となるはずだ。建築設計の一部ではあるがインテリアに関することも事業に組み入れたい。今は私一人の事業だが、事業拡張も考えている。

### これから取り組むこと等

(今後向上・習得すべき職業能力や、その方法などを記入)

完成物件そのものの営業には不安はないが、インテリアの知識不足感否めない。細かな要望に応えるためにもインテリアの知識習得は必要だと認識している。このため「インテリアデザイナー」講座の受講を検討している。

### その他

(以上から、自己PRやキャリアコンサルティングで相談したいことなどを自由記入)

60歳を過ぎた私にもインテリア設計等出来るか不安がある。コンサルタントの意見をお聞きたい。



## 様式3-1 職業能力証明(免許・資格)シート

氏名	日本 太郎
----	-------

No.	免許・資格の名称	免許・資格の実施・ 認定機関の名称	免許・資格の内容等
	取得時期		
1	普通自動車第一種 運転免許	〇〇県公安委員会	
	昭和 53 年 10 月		
2	宅地建物取引士	国土交通省	宅地又は建物の売買、交換又は賃借の取引に対し、購入者等の利益の保護及び円滑な宅地又は建物の流通に資するよう、公正かつ誠実に事務が行える。
	昭和 56 年 12 月		
3	不動産鑑定士		不動産の経済価値を評価でき、土地の有効利用などのコンサルティングが出来る。
	昭和 58 年 10 月		
4			
	年 月		
5			
	年 月		

**(注意事項)**

- 1 「免許・資格の内容等」欄には、必要に応じて、免許・資格付与の基準・目安等も記入(又は添付)してください。
- 2 原則として、本シートを生涯にわたって活用していく中で、免許・資格の取得の都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。また、応募書類とする場合は、応募先の業務に必要な資格等の書類等(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。
- 3 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 4 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 5 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

～文部科学省、厚生労働省及び経済産業省は「ジョブ・カード」の普及に取り組んでいます～

## 様式3-2 職業能力証明(学習歴・訓練歴)シート

氏名	日本 太郎
----	-------

No.	期間	教育・訓練機関名	内容等
		学科(コース)名	
1	昭和 51 年 4 月 ～	〇〇県立中央高等学校	数学が好きで、難問題を解くことに達成感を得た。また、中学時代からの仲間とバンドを組んでおり(ドラム担当)地域の催事で時折活動した。
	昭和 54 年 3 月	普通科	
2	昭和 54 年 4 月 ～	北関東大学	ミクロ、マクロの経済学について学んだ。* *ゼミに所属し、日本のあるべき姿について研究した。
	昭和 58 年 3 月	経済学部	
3	年 月 ～		
	年 月		
4	年 月 ～		
	年 月		

**(注意事項)**

- 1 原則として、中学校卒業以降の学校、教育訓練機関での学習歴を記入してください。
- 2 「内容等」の欄には、教育・訓練の内容とともに、学んだこと・得られたことも記入します。
- 3 教育・訓練を修了した都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。  
また、応募書類とする場合は、応募先の業務に必要な修了証等の書類(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。